

7月度生涯研修抄録

口腔がんを見逃さないために  
— 早期発見のポイントと治療の進歩 —

桐田忠明氏 (奈良県立医科大学口腔外科学講座教授)

わが国における口腔癌の本格的な機能を担うとともに、整容面でもその個人のidentityに大きく影響する重要な器官であることは言うまでもない。また、全身のQOLにも直結する部分であり、その果たす役割は大きく、この部分に生じた悪性腫瘍には様々な点を考慮した治療がなされるべきである。特に進行口腔癌の治療においては、以前に比較して新規治療薬の出現や手術療法、再建法の進歩など様々な発展が見られ、確実な進歩

女性歯科医師アンケート報告を受けて  
働きやすい環境を  
(女医の会世話人 玉川尚美)



女性歯科医師の会が4月に取り組んだアンケートでは、女性会員の働き方や協会に対する要望を聞くなど、紙面にて詳報してきた(5/25、6/5号参照)。  
現在、女性歯科医師の割合は4人に一人、歯学部では2人に一人が女性となっており増加傾向が顕著である。女性の働き方の実態では一般にも様々な調査が行われ、近年労働分野での法整備も急速に進められてきた。一方で、日本のジェンダーギャップ指数(2022年146カ国中116位)に示される通り、職場における格差の解消はなかなか進んでいない現状

表1 女性が生涯にわたって働きやすい環境を整備するためにどのような対策が必要だと思うか

- 本人の働き方にフレキシブルな対応ができる医院や、保育所や学童の充実。女性が就労できる環境や同様な女性や、あらゆる年代の女性が勤務できるような雇用形態。
- 男女平等のワークシェアリング (妊娠時は除く)
- 男女を問わず、各職場において、人員配置に余裕があることが必要。余裕のある人員にするためには、それだけの経営収入が得られる環境が必要。医療現場においては十分な保険点数。
- 保育制度、育児による時短就労
- 職場全体で助け合う雰囲気づくり、急に人員欠如する場合でもサポートし合える関係。

政党助成金をまわせばいい

T (匿名希望)

岸田政権は何を考えているのか? 広島で開催された先のG7サミットで岸田氏は、「我々の安全保障政策は核兵器を、それが存在する限りに対して、防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止すべき」と理解にもとづいて「と発言した。核兵器を肯定しているようだ。世界唯一の被爆国なのに!

談話室 たんわ室

2023年6月25日(日) 参加費無料 11:00~17:00(受付16:30迄) 大阪府保険医協同組合会館5F M&Dホール

THE 組合博 2023

- 完全オーダーメイドでエルメスを超える靴を創りませんか?
- 初夏の大ワイン祭
- 協同組合の陶器市
- 創業100以上の歴史を持つ宇治茶の老舗

協会行事案内

明日からすぐに活かせる「医療接遇セミナー」

7月度生涯研修 口腔がんを見逃さないために— 早期発見のポイントと治療の進歩

新人スタッフ総合講座

歯初診の施設基準に係る研修会

無料相談

訂正 5日付3面の「選出された役員」で「伊津道弘」先生は「伊津進弘」先生の誤りです。おわびして訂正します。